



▼演習で「土のう積み工法」を実施する町水防団の団員たち



演習は、梅雨前線が停滞し大雨の恐れがあるという気象条件の想定の下、緑川の氾濫（はんらん）の危険性に応じて各水防団が水防活動を行いました。町水防団（松尾憲親団長108人）は、増水が早く水が堤防を越えそうなときに堤防の上面に土のうを積み上げて水があふれるのを防ぐ「土のう積み工法」を実践し、迅速な作業を展開しました。

非常時の備えを万全に

平成29年度緑川水防演習

5月14日（日）安津橋上流緑川河川敷で、平成29年度緑川水防演習が開催されました。同演習は、緑川流域の市町などが参加する緑川水防演習協議会（奥名克美会長）が主催。この訓練は、大雨などによる洪水などの被害を未然に防ぎ、河川の非常時に際して迅速かつ確実に対処し、被害を最小限に止めるために緑川流域の市町や県、国土交通省や陸上自衛隊などが連携・協力して実施。水害の恐ろしさと水防の大切さを広く啓発するために、毎年、梅雨時期前に開催されています。

緑川で大きく育てね

甲佐小3年生が緑川で稚アユを放流

4月25日（火）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（福田雅也校長187人）の3年生31人が稚アユの放流を体験しました。

緑川の環境保全と子どもたちの自然体験のために、サントリー九州熊本工場（嘉島町）が実施。緑川漁業協同組合（山口照雄組合長）の指導の下、バケツに分けた65^キの稚アユを放流しました。

放流を体験した児童たちは、元気に泳いでいく稚アユを見て「緑川で元気に大きく育てほしい」と話していました。



▲バケツに分けた稚アユを緑川に放流する甲佐小3年生



◀集積されたごみを分別する甲佐中学生徒たち

きれいな緑川を守ろう

「緑川の日2017」一斉清掃活動

4月29日（土）緑川流域などで、「緑川の日2017」一斉清掃作業が行われました。緑川などの自然環境の保全に関して、住民や企業、行政機関などが連携して取り組むことを目的として、甲佐町緑川流域美化活動推進協議会（境国嗣会長）が主催。約2,000人が参加して、ごみ拾いや清掃作業に取り組みました。参加者が各地で回収・分別した紙くずや空き缶・空き瓶、不法投棄されたごみなどは中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中学校（井上幸三校長228人）の生徒らによって再度分別作業を行い処分。町内全体で、約2,600^キのごみを回収しました。

応援メッセージで本町を激励

東京甲佐会からふるさと甲佐町へ

熊本地震から1年として、東京甲佐会（蜂谷和明会長）から本町へ応援メッセージが寄贈されました。

同会は主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、昨年は被災した町への義援金の寄附などを行われています。

今回、熊本地震により被害を受けた本町へ向けて、同会一同は「甲佐町の「凛（りん）たる姿」は負けんたい！ 創造的復興を心よりお祈り申し上げます」と力強いメッセージを送りました。



▲震災復興応援メッセージを送る蜂谷和明会長



▲交通ルールとマナーを学ぶ乙女小児童たち

交通ルールを守ろう

乙女小学校で交通安全教室を開催

4月19日（水）乙女小学校で、交通安全教室が行われました。同教室は、正しい交通ルールを児童が学び、事故の発生を防ぐことを目的として、町が御船警察署と開催しました。グラウンドに訓練用の信号機を設置して、本物の道路と同じ環境を準備。低学年の児童を対象とした訓練では、信号機の見方や正しい道路横断の仕方を実践。中・高学年は、自転車の正しい乗り方や道路の走行方法の実技訓練を行いました。訓練終了後、児童代表が「事故に遭わないように、交通ルールとマナーを守ります」と決意の言葉を述べました。

団地内のコミュニティを支援

甲佐ライオンズクラブより仮設団地に放送設備贈呈



▲白旗仮設団地集会所で行われた放送設備贈呈式で目録を奥名町長に贈呈する甲佐ライオンズクラブ田中勝廣会長（写真左）

5月19日（金）白旗仮設団地内の集会所「みんなの家」で、応急仮設団地放送設備贈呈式が行われました。

同設備は、集会所に設置された放送マイクと団地敷地内4カ所に設置されたスピーカーを使って団地内の集会所が行われる際に放送を流し、団地内の住民が情報を発信、共有し、コミュニティ形成を図ることを目的として、甲佐ライオンズクラブ（田中勝廣会長）から寄贈されました。

同クラブは、災害時に被災地へ支援物資を送ったり寄付金を募ったりするほか、地域の青少年健全育成などのために活動する社会奉仕団体。田中会長は「熊本地震によって被災された住民の皆様のために少しでも支援ができれば、という思いで寄贈させていただきました」とあいさつし、奥名克美町長に目録を贈呈しました。

目録を受け取った奥名町長は「団地内の住民の方たちが、より一層のコミュニケーションを図っていくために、この設備を有効に活用させていただきたい」とお礼を述べました。